



米国大統領選挙の結果を受けて（党声明）

平成 28 年 11 月 10 日

幸福実現党

米大統領選挙で共和党のドナルド・トランプ氏が勝利したことを幸福実現党として歓迎します。中国や北朝鮮による軍事的脅威の増大や頻発するテロ、シリア内戦など、国際社会に難題が山積するなか、米国の国際的な威信が低下すれば、世界の混迷は深まるばかりです。トランプ次期大統領には、「偉大な米国」の復活を期待するとともに、孤立主義に傾くことなく、米国の指導者として世界の安定に対する大きな責任を果たされるよう望みます。

翻って、日本の安全保障面では、日米同盟の紐帯を強固なものとしながらも、米国の対日政策の変化も見据え、主権国家としての大原則に立った対応をとらねばならないというのが、わが党の考えです。日本の防衛政策の基本は憲法の下での専守防衛であり、核抑止力は米軍に依存してきたのが実状ですが、わが国を取り巻く安全保障環境が悪化するなか、国家国民を守り抜くため、憲法 9 条の改正はもちろん、「自分の国は自分で守る」体制の整備を急ぐべきです。

日米同盟を基軸としつつも、ロシアとの関係強化も含め、アジアの大国として、地域の平和と繁栄の実現に貢献しうる国家となるための外交・安保ビジョンを持つべきだと考えるものです。

また、幸福実現党は、トランプ次期大統領と同じく、経済政策の柱として大胆な減税を掲げています。国家統制型の政治手法と決別し、減税や規制緩和など、わが党が標榜する「自由の大国」を目指した政策実施により、日本の未来は必ず開けると確信します。この国を強く、豊かにすべく、必要な政策の立案・遂行に向け、わが党として引き続き力を尽くす所存です。
